

2017年9月6日 静岡新聞

宴会場と神殿を一新

浜松市中区のグランドホテル浜松はこのほど、ホテル内の宴会場「鶴」と神前挙式を行う神殿「長生殿」をリニューアルした。担当者は「激戦が続くプライダールを中心に、さらなる利用者獲得に努めたい」としている。

鶴は八角形の会場（580平方メートル）に完全独立型の常設ステージ、会場を囲むようにリファが並びブース

グランドホテル浜松

席を設けている。天井にはオーストリアのクリスタルガラス製造会社「スワロフスキー」製のシャンデリアを設置し、気品と風格を備えた宴会場に生まれ変わった。収容人員は着席180人、立食250人。結婚披露宴やパーティーなど幅広く使用できる。

同ホテル約50年の伝統的な雰囲気が残る長生殿は、新たに壁面に約6千のサクラの花びらの模様を施し、床面も改装した。和装結婚式のニーズが高まっていることを受け、入り口付近の「和」のテイストもさらに強めた。118平方メートルで、収容人員は60人。同ホテルが2014年以降、進めているリニューアルの一環。9月中旬には全客室の改装も終了する予定。

天井中央のシャンデリアが目を引く宴会場「鶴」＝浜松市中区のグランドホテル浜松

